

新庁舎候補地について

■ 条件の設定

- ① 早期の整備が可能であること
- ② 想定必要面積を確保できる敷地規模であること：現在地同等規模の 20,000 m²程度
- ③ 市民のアクセス性の確保が図られること：居ながら工事や仮設庁舎工事の検討

■ 工事中の来庁者通路の安全を確保

- ・市庁舎南棟への来庁者動線は、工事敷地に隣接するため専用で通路の屋根・壁を仮設材で設置し、床に防滑素材のマットを敷設します。また通路の明るさ確保のためにLED照明も設置します。
- ・視覚障害のある方には、音声システムによる通行案内を設置することで、安全性と利便性に十分配慮します。



来庁者通路イメージ

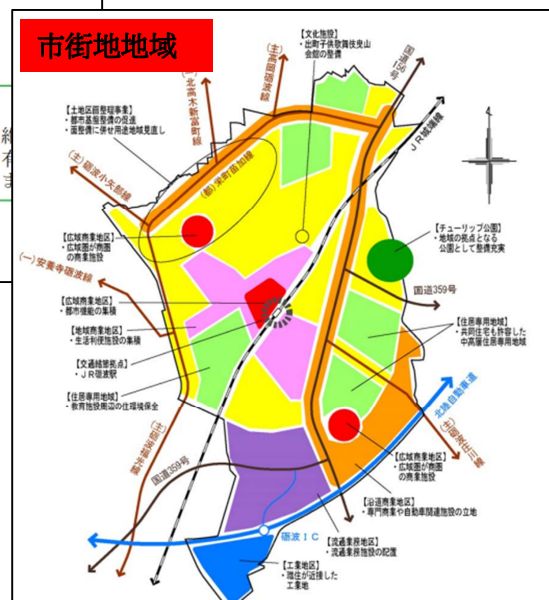
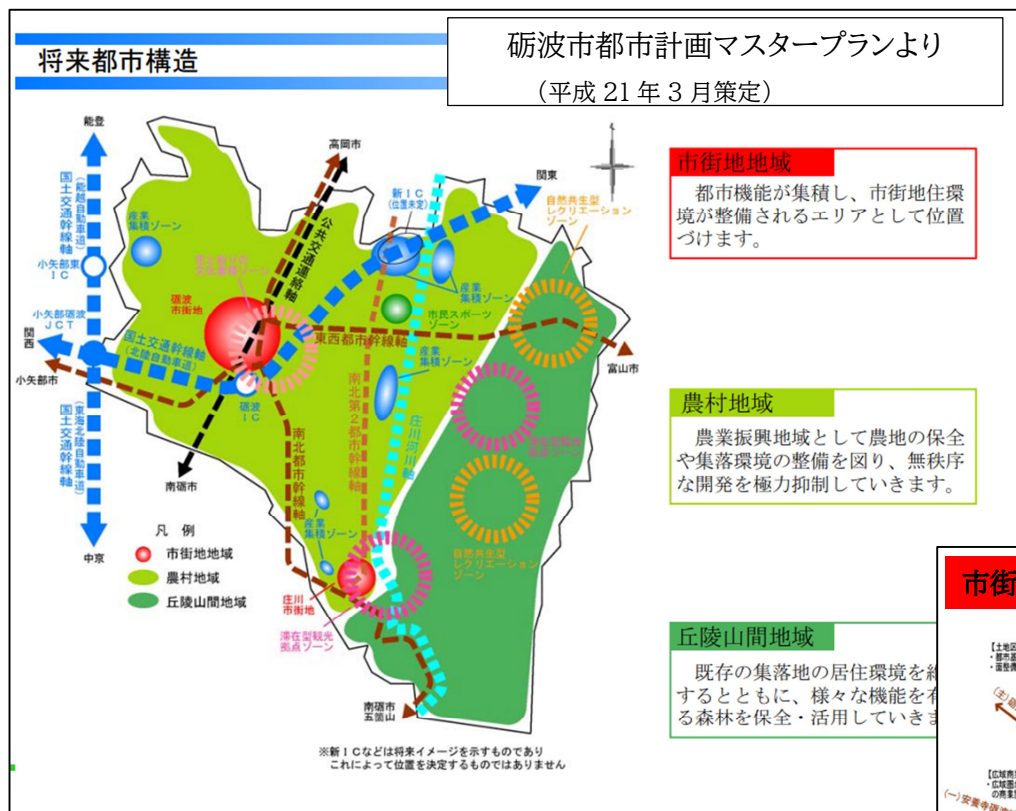
■ 工事中の市庁舎案内マップの『見える化』

- ・工事期間中の市庁舎出入口や、来庁者動線をわかりやすく説明する案内マップを作成して仮囲いの適切な位置に掲示し、『見える化』します。文字や図は、わかりやすい大きめのサイズにて表示します。



案内マップ例

- ④ 災害時に迅速な対応が可能であること
- ⑤ 事業費を最小限にとどめること
- ⑥ 市の各種計画・方針等との整合性が図られていること



■ 候補地の抽出

抽出条件	現敷地	中村グラウンド	富山県花総合センター
①早期整備	市有地＋借地 ※借地:職員駐車場等	市有地＋借地 ※建屋下地は、借地所有者との調整要	県有地
②敷地規模	約 22,000 m ²	約 21,000 m ²	約 27,000 m ²
③アクセス性	国道 156 号に面する	国道 156 号に近接 進入路の確保を検討	国道 359 号に近接
④災害時の迅速な対応	国道 156 号に面する	国道 156 号に近接	国道 359 号に近接
⑤事業費の抑制	仮設庁舎費用が発生 借地の賃借料が継続	借地部分の買収費用が発生	買収費用が発生
⑥計画適合性	市街地地域	市街地地域に隣接	市街地地域に近接

